

- 02 新年特集
- 08 認知症疾患センター
- 05 シリーズ健康 コグニサイズ
- 06 野球部活動報告
- 09 トピックス 若宮病院情報メディア委員会
フードドライブ活動
診療情報
- 11 外来受付予定表

こころ





新年 初顔合わせ会



令和8年理事長訓示

理事長 佐藤 忠宏

明けましておめでとうございます。皆さんには健やかに新年をお迎えのことと存じます。

今年は様々な面で不安の多い年になりそうです。国際的な紛争、日本が巻き込まれないかという心配。

人間社会だけでなく、自然界もいつ何が起るかわからない状況。

生活面では物価高騰による生活苦、米まで不足するのではないかと、心配。地域における少子、高齢化、人口減少の問題。

医療界、介護業界ではコロナ後の受診態度の変化による患者さんの減少。精神科では疾病構造、精神症状の変化により、受診患者層の変化。介護面での職員不足により廃業する施設の増加。

救急対応が必要な患者さんの減少。厚労省のベッド削減の方針と相まってスーパージョー救急病棟の削減が予想される。

このような状況で当法人はどのようにに対応したらよいか考えなければなりません。

今後の診療報酬の上昇が2〜3%と言われていますが、それと関係なく経費に関して検討し、無駄を省き効率的に目標実現を目指すこと。その為に業務のデジタル化を図るべきと思われます。

その他検討すべき課題がいくつかありますが、皆さんの意見を伺い

がら考えていきます。

今年は厳しい年になることが想像できますが、体に気を付けて仕事に励んで下さい。

職員代表決意表明

佐藤病院 検査科長 佐藤和弘



新年あけましておめでとうございます。令和8年の新春を皆さまとともに迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

今年は午年です。午年は「勢い」「前進」「成長」を象徴する年と言われ、どんな状況でも力強く進んでいく気概を表す干支とされています。

私たちを取り巻く医療・介護・福祉の環境は、ここ数年、厳しい状況が続いています。そして本年は、診療報酬に加え、介護では臨時の介護報酬改定も予定されており、節目となる一年です。報道では明るい話題もありますが、持続可能な運営、人材確保、地域包括ケアの推進など、今後も多くの課題に向き合う必要があります。厳しい環境ではありますが、部門間、病院間そして部署間で

連携すること、さらなる資源の活用へとつながり、前向きな変化が生まれることと思います。

一方で、どのような改定の年であつても大切なのは、足元をしっかりと見極めて取り組む姿勢です。困っている人に寄り添い、1人ひとりが日々の診療とケアを確実に積み重ねることこそ、地域からの信頼を守り、法人を支える土台となります。

私が所属する検査科においても、検査データの正確かつ迅速な結果の提供を担保しつつ、変化を恐れずに病院のニーズに応え、一つひとつの業務を丁寧に積み重ねていく決意です。

午年には「駿馬のごとく前に進む」という意味だけではなく、「しっかりと地固めを行いながら成長していく」という側面もあると言われています。

まさに今の公徳会にふさわしい言葉だと感じています。

最後になりますが、私自身、今年で4回目の年男となります。気持ちでは若いつもりでも健康に留意しなければならぬ年齢となりました。本年は、健康にも注意しつつ、法人が掲げる方向性のもと責務を果たし、充実した一年となるように精進してまいります。

皆さまのご健勝とご多幸、そして当法人の発展を心より祈念し、職員代表の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく願ひいたします。



佐藤病院
院長 沼田 由紀夫

あけましておめでとうございます。今年も穏やかな天候の中で新年を迎えることができました。近年はAI（人工知能）という言葉が取りざたされていますが、AIがすべてを解決してくれるわけではありません。人間が社会生活を営んでいく為には、相手が何を考え、何を望み、何を苦しんでいるのか？自分出来る事は何かないか？等、思いを巡らしながら共に生きていく事が大切であると考えています。私が精神科の医師を志したときから考えている事は、「精神科医療や福祉に関する理解と関心を深め、差別や偏見のない社会作りを進めていく事」であります。この考えは、医師になって数十年経った今も変わりません。

精神科は受診しにくい、受診するのがはばかれる、といった考えが払しょくされ、気軽に相談できるような、愛のある開かれた精神科医療を実践して参ります。

本年も皆様にとりまして、幸多き年になりますよう、心からお祈り申し上げます。



若宮病院
院長 田中 武

新年あけましておめでとうございます。今年も診療報酬改定の年となりますが、令和6年の病院経営は一般病院の6割が、自治体病院では9割以上が赤字という状況でした。昨年は当院でも、人員に余裕がない中で、経営的な努力をすることを常に求められました。こうした厳しい状況下においても、職員一人ひとりが患者さんに真摯に向き合い、質の高い医療を提供し続けて下さっていることに、深く感謝いたします。

私は、多忙で気持ちに余裕がなくなると、「病氣や生きづらさを抱えて困っている人を何とかしたい」という大切な気持ちが薄れやすくなります。「診させていただく」という謙虚な気持ちも抱きにくくなります。しかし、常に患者さんに寄り添う姿勢を大切にし、皆様と職種を超えて協力しながら前進していきたいと思っています。

本年もどうぞよろしく願いたします。



米沢こころの病院
院長 長谷川 朝穂

皆さまに新年のご挨拶を申し上げます。

先日、テレビ番組で、ある認知症の方の生活を垣間見る機会がありました。普段は一日中ぼんやりと過ごしているのですが、施設のレクリエーションの場で、友人のギターに合わせ、大好きなビートルズの曲を別人のように生き生きと歌っていたのです。おそらく同じように認知症を抱える周囲の方々も、共に歌い踊り、幸せなひとときを過ごしていた姿がとても印象的でした。

音楽のリズムには、人類に共通する力があり、言葉を超えて人と人を結びつけます。そして、思春期に親しんだメロディは、その人の大切な記憶と結びつき、心の奥に残り続けるものなのでしょう。

近年の厳しい社会情勢や相次ぐ災害により、不安を感じることも多い日々ですが、そんな時こそ「自分には音楽がある」と思い出したいものです。皆さまの大切な一曲は、どんな曲でしょうか。

この一年が実り多いものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。



ドミール南陽
施設長 阿部 ひろみ

謹んで新年のお慶び申し上げます。日頃より当施設の運営にご理解ご協力を賜りありがとうございます。ドミール南陽では、昨年産休育休を取得した職員達が順調に復帰して参りました。子育てしやすい職場環境の整備は、大切な地域貢献のひとつと考えております。当施設のみならず介護・福祉部門が一体となって、住み慣れた地域で生活し続けられるよう、今、介護を必要としている方はもちろん、そのご家族様も支えるための、持続可能なサービスの在り方を模索中です。ビッグデータの活用、介護DX、生成AIなど様々なカタカナや略字が溢れて悪戦苦闘していますが、人手不足を補う介護ロボットも、使いこなすのは人間の手であり知恵ですから、人材の確保と育成に注力しているところです。地域の皆様に「選ばれる施設」でありますように努めて参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。





若宮病院 事務部 — 武田 渉（事務員）

私は2012年に入職し、13年間事務員として勤務しております。

現在所属の若宮病院では10年近く勤務しており、最近では事務職だけではなく、患者様と接する場面が多くなってきたと感じます。

今年は患者様だけでなく職員や若宮病院に関わる人が働きやすい、心地よい環境づくりを進めたいと考えております。患者様に対してもよりよい対応ができると考えており、他部署の意見を業務に取り入れられるよう努めていきます。



佐藤病院 第1病棟 — 田辺涼介（看護師）

私は精神科看護師として3年目を迎えるにあたり、これまで培ってきた観察力や関わり方をさらに深め、よりその人らしさを大切にした看護を実践していきたいと考えています。急性期から退院支援まで幅広い場面で、チームと連携しながら適切な判断が出来るよう学び続けます。患者様に安心してもらえる存在を目指し、日々のケアに丁寧に取り組んでいきます。

南陽訪問看護ステーション — 阿部里紗（看護師）
高齢化に伴い精神疾患を有する患者層は増加しており、地域医療構想の見直しや医療DXの推進から、医療提供体制や連携の在り方が重要視されています。これまで様々な経験を通して精神科看護の楽しさや難しさを学んできましたが、現在も自身の未熟さを痛感する毎日です。求められる役割を考えながら、よりよい看護が提供できるよう、専心して取り組んでいきます。



『共生社会』について 考えてみませんか？

『共生社会』とは…

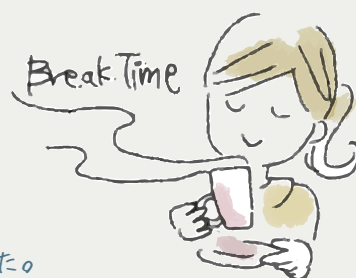
これまで必ずしも十分に社会参加で
きるような環境ではなかった障害者等
が、積極的に参加・貢献していくこと
ができる社会のこと

令和6年1月、「共生社会の実現を
推進するための認知症基本法」が制的
されました。認知症の人も含めた国民
ひとりひとりが、その個性と能力を十
分に発揮し、相互に人格と個性を尊重
しつつ支えあいながら共生する活力あ
る社会を目指すこととなりました。

『認知症』というネガティブなイ
メージを持たれる方が多いと思いま
すが、実際はどうでしょうか。「認知症
＝何もできなくなる」ではありません
。認知症の進行に伴っておこってく
る生活のしづらさをサポートしてくれ
るサービス、または家族に向けたサー
ビスもたくさんあります。オレンジカ
フェのように、認知症に興味のある方
が参加できるような場や認知症につ
いての講演会も多く企画されています。

認知症はいまや誰でもなりえる病
気です。認知症であってもなくても、誰
もが住み慣れた地域で、健康に幸せに
暮らせることが大事ですね。

くぬぎずカフェ開催しています



佐藤病院にて、令和7年11月13日(土)に「てぼっこ・くぬぎずカフェ」を開催しました。

テーマは、「楽しく出来る運動不足・物忘れ予防」です。

看護師による身体測定(身長・血圧等)を測ったり、作業療法士による体力測定(バランス・歩行・立ち上がりテスト)を行ったり、福祉用具(手すり・歩行器・四点杖等)の展示を行いました。体力テストでは、自分の体力が何歳程度なのかを確認したり、ゲーム等を取り入れた簡単な運動を学んだりして、皆様楽しみながら参加されました。今回は、地域の多くの方に参加していただき、賑やかなカフェになりました。ぜひ、来年も、てぼっこカフェと合同で企画が出来たらと思っています。



|||||

問合せ: 0238-43-6040(直通)

佐藤病院認知症疾患医療センター
南陽市柵塚948-1

|||||

コグニサイズ指導者による認知症予防運動

公徳会では南陽市、高畠町の一般介護予防事業として「認知症予防教室」事業を「コグニサイズ」で受託しております。今回は「コグニサイズ」要素を含んだ運動をご紹介します。

動作説明



- ①椅子に腰かけた状態で両手をグーにして前に出しましょう。
- ②右手は順番に、グー、チョキ、パーを出し、左手はグー、パーの2種類を出し続けます。「1…2…」と数を数えながら動かして行きましょう。10回目で右手グー、左手パーになっていれば成功です。※右手の動きにつられない様に左手でチョキが出ない様に気を付けましょう。

★上級編

指の動きに慣れてきた方は、足踏みを同時に行いながら上記の動きを繰り返しましょう。また、左手の動きをチョキ、パーの2種類に変えてみたり、左右の手の動きを逆にする事で難易度をアップする事が出来るので是非チャレンジしてみてください。



コグニサイズ
指導者
大塚光浩

お題 緑と青
ほうれん草→海→草→空…

動作説明

- 椅子に腰かける、または立った状態で足踏みをしましょう。
 - 足踏みをした状態で次のお題2つの連想ゲームを行い、お題を10個言えるまで継続しましょう。
- ① 都道府県名と国名 (例：北海道→アメリカ→東京…)
 - ② 赤いものと白いもの (例：ポスト→雪→りんご…)
 - ③ 何でも良いので自分でお題を決めてやってみましょう。(周りの人に決めてもらうのもOK)

ワンポイント!!

お題を考えている時も、足踏みが止まらないように注意しましょう。

野球部活動報告

日頃より、佐藤病院野球部の活動に対し、格別のご理解とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、令和7年10月に滋賀県において開催されました「第79回国民スポーツ大会わたSHIGA輝く国スポ2025軟式野球競技」ならびに、同年11月に開催された「水戸市長旗 第33回東日本軟式野球選手権大会」において、公徳会佐藤病院野球部が出場いたしました。ここに、各大会の結果につきましてご報告申し上げます。



第79回国民スポーツ大会わたSHIGA 輝く国スポ2025軟式野球競技

滋賀県

1回戦 | 令和7年10月4日(土) 守山市民球場

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
公徳会佐藤病院	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3
旭食品(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



2回戦 | 令和7年10月5日(日) 守山市民球場

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
グローリー株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
公徳会佐藤病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



水戸市長旗 第33回東日本軟式野球選手権大会

茨城県

1回戦 | 令和7年11月1日(土) ノーブルホームスタジアム水戸

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
サンデンリテールシステム	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
公徳会佐藤病院	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4

2回戦 | 令和7年11月2日(日) 大宮運動公園市民球場

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
フタバ産業(株)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
公徳会佐藤病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



以上の大会をもちまして、令和7年シーズンの全日程が無事終了いたしました。今シーズンも多くの関係者の皆様より温かいご声援と多大なるご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

📺 若宮病院ハッピーチャンネル (YouTube)

📷 wakamiya_hospital (Instagram)

🔗 若宮病院～ゆるーく優しくポジティブに～ (livedoor Blog)

これからも当院では精神科への偏見・差別解消、正しい情報を拡散するためにSNSでの情報発信にも力を入れていきます。



10～12月の 活動紹介

この秋から冬にかけて、若宮病院の各部署・デイケアでは、利用者さんが主体となり、季節を感じながら楽しめるさまざまな行事を開催しました。今回は、10～12月に行われた取り組みの中から、特に印象的な活動をご紹介します。

1年間の集大成



文化祭を開催



フロアから廊下まで
沢山の作品を展示



作品交換会をしました

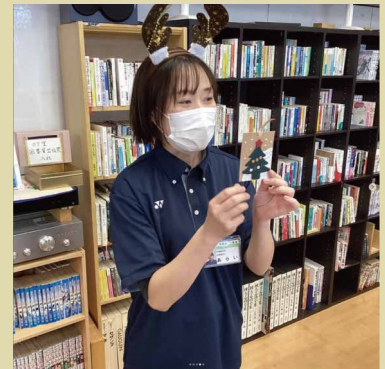
はつらつデイケア 文化祭 (11月)

秋も深まる11月、はつらつデイケアでは文化祭を開催しました。1年を通して利用者さんが制作

してきた多くの作品を、フロアから廊下にかけて展示し、会場は華やかな雰囲気になりました。季節感あふれる大きな共同作品に加え、個人で制作された作品も並び、文化祭に向けて時間をかけて丁寧に仕上げられた力作も多く見られました。当日は、利用者さんが作品を見て回りながら自然と会話が弾み、院内や他のデイケアからも多くの職員が見学に訪れました。合唱コンクールやデザートバイキングも行われ、創作と交流の両方を楽しめる、充実した一日となりました。

作業療法室 クリスマス点灯式

作業療法室では、クリスマスの時期に合わせて「クリスマス点灯式」を行いました。まずは、クリスマスにちなんだしおり作りに取り組み、その後、みんなで点灯式を実施。明かりが灯ると、作業療法室は一気にあたたかい雰囲気に包まれ、自然と笑顔が広がりました。季節を感じながら、穏やかに心に残る時間を過ごすことができました。



児童思春期デイケア エスカリエ 正月飾り作成

クリスマスが終わり、少し寂しくなったエスカリエの玄関を彩るため、利用者さんと一緒に正月飾り作りを行いました。折り紙などの材料を使い、黙々と作業に没頭する姿や、互いにアイディアを出し合う様子が見られ、穏やかに温かい時間が流れていました。午前中で終わる予定でしたが、制作に熱が入り、作業は午後まで延長。後半はコーヒーを淹れて雑談を楽しみ、終始まったりとした、心もほっこりするひとときとなりました。





2025年12月29日にSAYさくらんぼテレビ「発見!オキタマ Smile Company」にて、当法人の佐藤病院認知症疾患医療センターを題材にし放送されました。

見逃した方や再度見たい方の為に、Youtubeにアップ致しましたのでご覧ください。

視聴はコチラ



※動画は制作会社より頂きYoutube掲載への許可を得ております。



Food Drive



フードドライブ活動
10月27日(月)から11月10日(火)にかけて法人内でフードドライブ活動を実施し、約200点もの食品等を集めることができました。
これらの品物は、11月17日に南陽市社会福祉協議会様へ寄付させていただきました。

診療情報 令和7年度

【佐藤病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	77.5	79.6	77.7	78.3
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	13	11	9	11
入院者数【総ベッド数114床】	1日平均	109.4	108.7	107.2	108.4
入院件数	月件数	29	27	29	28.3
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	3	1	0	1.3
退院件数	月件数	27	26	27	26.7
平均在院日数		102.1	108.7	93.2	101.3
（うち、救急病棟平均在院日数）		62.8	66.1	59.9	62.9

【若宮病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	97.4	96.8	97.8	97.3
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	10	8	14	10.6
入院者数【総ベッド数102床】	1日平均	98.2	96.5	93.5	96.1
入院件数	月件数	26	23	31	26.6
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	2	2	3	2.3
退院件数	月件数	29	25	35	29.6
平均在院日数		124.7	116.5	104.6	115.3
（うち、救急病棟平均在院日数）		71.9	67.4	61.3	66.9

【米沢こころの病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	81.2	81.8	79.4	80.8
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	8	6	13	9
入院者数【総ベッド数114床】	1日平均	105.8	103.1	106.7	105.2
入院件数	月件数	23	19	31	24.3
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	1	0	0	0.3
退院件数	月件数	32	15	27	24.6
平均在院日数		105.3	111.2	103.5	106.6
（うち、救急病棟平均在院日数）		71.5	78.0	73.7	74.4

表紙写真

熊野大社のお神坂



外来受付時間

担当医師予定 1 / 1 ~

【佐藤病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	佐藤忠宏 沼田由紀夫 直長康子	澤村一司 富田 裕	直長康子	沼田由紀夫 文 鍾玉 富田 裕	澤村一司 岩本康夫		
午後1:30~4:30	澤村一司	岩本康夫	長澤浩樹	長澤浩樹	文 鍾玉 齋藤裕介		
専門外来制	午前 8:30~11:30	沼田由紀夫 (アルコール) 直長康子 (大人の発達障害)	澤村一司 (もの忘れ)		澤村一司 (ストレス) 岩本康夫 (依存症)		
	午後 2:00~4:30		岩本康夫 (依存症)		齋藤卓弥 (隔週) (児童思春期) 須山 聡 (隔週) (児童思春期)		

【若宮病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	阿部詔子 佐々木菜葉子	阿部 淳	日向正光 渡部 亮	田中 武 石井玄樹 岡村未央	日向正光 奥山有里子 阿部詔子	田中 武 (第1,2,3,4週) 渡部 亮 (第1,3週) 飯沢美文 (第2,4週)	
午後1:30~4:30	石井玄樹 渡部 亮	阿部 淳 (第1・3・5週) 飯沢美文	阿部詔子 飯沢美文		奥山有里子 山田医師 (隔週)		
専門外来制	午前 8:30~11:30	岡村未央 (児童思春期)	田中 武 (依存症) 岡村未央 (児童思春期)	成重竜一郎 (児童思春期)			
	午後 1:30~4:30	日向正光 (うつ)	石井玄樹 (児童思春期) 成重竜一郎 (児童思春期)		阿部詔子 (もの忘れ) 簡野宗明 (児童思春期) (第1・3週)		

【米沢こころの病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	竹内幸宏 遠藤雅俊 國井寿樹 佐山英美 (第3週)	長谷川朝穂 遠藤雅俊	長谷川朝穂 國井寿樹	遠藤雅俊	竹内幸宏 薛 陸景		
午後1:30~4:30	薛 陸景 佐山英美 (第3週)	國井寿樹 薛 陸景	薛 陸景	竹内幸宏	長谷川朝穂 相良雄一郎 (第2週) 國井寿樹		
専門外来制	午前 8:30~11:30	遠藤雅俊 (不安症・パニック障害) 竹内幸宏 (ストレス) 佐山英美 (児童思春期) 月1回		長谷川朝穂 (依存症)			
	午後 1:30~4:30	薛 陸景 (不安・恐怖症) 佐山英美 (児童思春期) 月1回		成重竜一郎 (児童思春期) 隔週	長谷川朝穂 (思春期) 相良雄一郎 (睡眠) 月1回		

【米沢駅前クリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~11:30	薛 陸景	直長康子 國井寿樹	担当医	澤村一司	沼田由紀夫	長谷川朝穂 当番医 (毎週)	
午後1:30~4:30	岩本康夫	長澤浩樹	岩本康夫		富田 裕		
専門外来 予約制						須山 聡 (隔週) (児童思春期)	

*各施設担当医師については変更になる場合もありますのでご確認ください。

*診療及び、各種お手続等に関するご相談・お問い合わせは以下の各病院、医療福祉相談室で受け付けいたします。

佐藤病院

☎0238-40-3170(代)

若宮病院

☎023-643-8222(代)

米沢こころの病院

☎0238-27-0506(代)

- 理念**
- 愛のある医療
 - 良識に基づいた医療
 - 公正、公平な医療

- 基本方針**
- 良質な医療の提供につとめます
 - 患者さま、利用者さま中心の医療を行います
 - 地域に立脚した医療を行います
 - 安全で安心と満足の得られる医療を提供します
 - 保健、医療、福祉の幅広い視点に立って健康を考えます

社会医療法人公徳会 広報誌 **こうとく** vol.75

記載内容につきまして、ご意見・ご質問・ご感想等ございましたら、こちらまでご連絡ください。

令和8年1月16日発行 第75号 発行／社会医療法人 公徳会 編集／公徳会広報委員会
社会医療法人 公徳会／〒999-2221山形県南陽市柵塚948-1 TEL.0238-40-3170 FAX.0238-43-2076

☎ <http://www.koutoku.or.jp>
✉ sato-hp@koutoku.or.jp

